ＯＢだより

第40号
発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局・広報部

第四十回記念外大能！

今年は第四十回記念外大能開催の年です。
そこでＯＢ会から島谷ＯＢ会会長に、現役からは部長の土井さんにご挨拶を頂きました。
ＯＢ会員の皆さん、四十回も続いて来た外大能です。万障お繰り合わせの上、是非お越しくださいますようお願い申し上げます。
（事務局一同）

第四十回記念外大能によせて



ＯＢ会会長　島谷直美

平素はＯＢ会に御協力頂きまして誠に有難うございます。お陰様にて本年十二月二十日、河村能舞台にて第四十回記念外大能をＯＢ共催としての舞台に参加致しましたが、それ以来、一年一年現役との真の心の交流も深まってまいりました。

今年は四十回記念にふさわしく現役による能二番、舞囃子七番、仕舞八番に併せましてＯＢ会より舞囃子一番、仕舞五番、さらに現役ＯＢの混合地謡にも参加させて頂きます。

私達能楽部ＯＢ会は現役のクラブ活動がより良い形で活発に、より充実したものとなる為の援助協力を目指してきました。

今後もさらに深い団結と、さらに大きく輪を広げ、ＯＢ相互と現役と暖い心で触れ合える会として活動を続けて行きたいと思っています。

ＯＢの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、十二月二十日、河村能舞台にて多くの会員の皆様にお会いできます事を心より願っています。

開く事になりました。

ＯＢの皆様の様々な思い出を織り成してきたこの〝外大能〟が四十回という伝統を築き、回を重ねてきた事は言葉に表せない喜びです。

五年前、初めて観世会館に於てＯＢ会より共催会とし

ＯＢ会の諸先輩方へ。



部長　土井智代

多くの方々のお力添えにより、本年も河村能舞台におきまして、外大能を開催させて頂けることとなりました。心より感謝申し上げます。

本年は、第四十回記念外大能ということで、部員一同、例年以上に力を入れ、練習に励んでおります。

また、ＯＢ会との共催ということもあり、ＯＢ・ＯＧの先輩方と接する機会も多く、技術的なこと、能楽部の歴史、お能に対する姿勢など実に多くのことを学ばせて頂いております。外大能は、今年で

四十回を迎えるわけですが、歴代の先輩方が、卒業後も、お能を愛し続けておられることを知ると、能楽部が四十年以上続き、外大能が四十回目を迎えるのも当然のことと思います。もちろん、能楽部に入って三年目の私などには分からないような御苦労があり、また、本当に多くの先生方、先輩方の御支援、御協力があって初めて成り立っていることであると痛感しています。

私達は、そんな先輩方に地謡を謡って頂いたり、共に謡わせて頂いたりと、本当に幸せなことだと思います。技術的な面で勉強になるのは勿論ですが、何より、共に練習し、共に舞台に立たせて頂けることが楽しくてなりません。それと同時に、先輩方の〝本当にお能が好き〟という気持ちが伝わって参ります。

私は、橋本礒道先生をはじめ、橋本忠樹先生、諸先生方、そしてＯＢ会の先輩方あっての外大能楽部、外大能であると常々思っております。この場をお借り致しまして、心より感謝し御礼申し上げます。

最後になりましたが、本年の第四十回記念外大能は、十二月二十日(土)の開催となっております。年末のお忙しい時期だとは思いますが、四十回目という記念すべき舞台に、是非、足をお運びくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

【 現在の執行部 】

部長／土井智代(3)
副部長／安元麻衣子(3)
渉外／越智公子(3)
渉内／鴨川愛子(3)
会計／光田優芙子(3)
外大能会計／久保千織(3)
外大能実行委員長／坂本仁美(2)
連盟(委員長)／木村与宣(3)
情宣／高尾智憲(1)

※(　)は回生

新ＯＢ会員紹介

★年度代議員(五十音順)



会員 No.123
井上真一

この度、新ＯＢ会員となりました井上真一です。

昨年の外大能では、能楽「船弁慶」の前シテを勤めさせて頂きました。舞台当日の緊張感や感動は今でもはっきりと覚えています。

現在は、民間の教育出版社で講師として主に中高生を対象に教科指導を行っています。

公務員と違うとは言え、子どもたちから「先生」と呼ばれることに喜びと責任感を感じつつ、多感な年頃の彼らと日々接する中で自分自身が成長させてもらっているような気がします。

今後は、ＯＢとして舞台に向けて頑張っている現役たちをいつも蔭ながらサポートしていけるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



会員 No.124
沖中敏志

この度、ＯＢ会一年生となりました沖中敏志です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、我が能楽部で、舞台にあがる主役としての期間を終え、改めて、ＯＢ・ＯＧとして活躍しておられる諸先輩方の姿をみてみますと、ＯＢとしては始まったばかりだなと思うと同時に、ＯＢ会の歴史の長さを実感致します。僕自身も、一ＯＢとして上手に現役さんを盛り立てられる

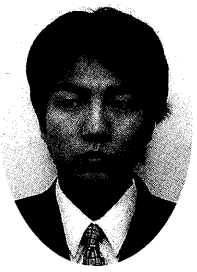
よう頑張りたいと思います。
　現役として過ごした四年間の活動を通して幸いにも二つのことを知ることができました。
　一つは、仲間の貴重さです。当たり前のことですが、仲間の協力がないと出来ないことは数多いです。二つ目は、能楽の面白さ、と言い変えてもいいかもしれません。機械的、事務的、合理的なものが多い現代、「人」のみでつくりあげられる舞台は感動的ですらあります。
　お能をさせてもらえたことは本当に幸運であったと思っています。お世話になった皆様に深く感謝します。そして、これからもよろしくお願いします。





会員 No.125
栗山　藍

　学生時代に何か一つの事に打ち込みたくて入部を決意した一九九九年の春―あの時の私の選択は全く間違っていなかった。卒業して一社会人になった今でも、能との触れ合いは私にとって特別な空間や時間をもたらしてくれるものであり、いつまでも変わらず心の片隅に存在し続けるものであろう。
　目まぐるしいスピードで変化してゆく社会に身を置いていると、不思議と外大能楽部の独特の雰囲気や情熱が恋しくなる。私が知る限り、どの先輩もどの仲間もどの後輩も皆それぞれにこの部に対して何かしら深い想い入れを抱いており、それが一本の線で繋がっている。能楽部という存在は、能がその真随を保持しているのと同様に常に確固としたものなのだろう。能に出会わなければ、心の豊かさや深さ、広がりといった自分の内面を磨くことは難しかったと思う。それに気付いた事、そしてそれらを舞台上で表現する事の苦楽を分かち合えるのもまた素晴らしい。改めて私を支えてくれた橋本礒道先生、橋本忠樹先生始め諸先生方、諸先輩方、同回生の仲間達、後輩の皆に感謝致します。能楽部の更なる発展を祈って…。



会員 No.126
★兵道亮太

　能楽部で過ごした四年間は、やはり大切な時間であったと思います。現役の頃に気付かない事が半年経った今、多く感じる時が有ります。
　暑い時は、暑い部屋での練習を思い出したり、そろそろ連盟の舞台だな等と感じる事がありました。能楽部が四年間の生活に多く関わっていたのですから、当然なのかもしれません。今年卒業した他の三人も皆同じ様なものであると思います。
　同回生の三人や、先生、先輩、後輩達と会える時間は当然減るわけですが、それでも部への感情が消えるわけではない。ＯＢの気持ちとは、そういうものなのかなと思っています。
　今年はＯＢとして外大能に出演させて頂きます。後輩達の舞台が素晴らしいものに成るよう、外大能が盛会になる様、協力出来ればと思っています。
　何卒、宜しくおねがい致します。



❶ 会計局から会費納入のお願い

平成十五年度ＯＢ会費納入がまだの方は、至急お振り込みをお願い申し上げます。

一般会員　8千円
夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会

❷ 報告とお願い

今年8月3日、京都祇園でＯＢ懇親会が開催され、去年、卒業した杉森さんに幹事をして頂きました。参加人数は9名でしたが楽しく歓談致しました。

杉森さんには忙しい中、会場を予約したりハガキの準備をして頂きましたが、残念ながら返信されて来たハガキは情けない程、少ない数でした。毎年、毎回、感じることですが、せめて、返信くらいは出して頂いても良いのではないでしょうか。欠席でも貴重な意見や近況を返信ハガキに書いておられる方も居らっしゃいます。そのような返信を頂くと、欠席されていても話題になり、出席した皆で意見交換をしたり現役時代を懐かしんだりしています。

どうか参加・不参加に拘わらず返信のハガキは投函してください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

懇親会で特に中心になった話題は年末の外大能でした。冒頭でも紹介させて頂きました通り、**今年は第四十回記念大会です。**懇親会以降も舞台に参加予定のＯＢ・ＯＧの方々は仕事の合間を縫って夏合宿に参加したり、休日、外大のボックスに足を運んで熱心に練習をして頂いております。名実共に現役とＯＢ会との共催の外大能にすべく皆頑張っておりますので、当日は多くのＯＢ・ＯＧの方々のご来場を心からお願い申し上げます。

年末でお忙しいとは存じますが、ご都合を合わせて頂き、是非是非、舞台を応援に来てください。そして足袋を持参して連吟に参加して頂いて、久しく舞台から遠ざかっておられる方も現役の頃の熱き思いを甦らせてみては如何でしょうか。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

近年、ＯＢ会員が増えるに連れてＯＢ会に対する様々なご意見を頂いております。特に建設的な意見は今後のＯＢ会の発展に欠かせません。

来年度は四年に一度の総会の年です。この機会に皆さんと外大能楽部ＯＢ会を見つめ直したいと考えております。今後の発展のために、一人でも多くの方の参加と貴重なご意見を頂きます様、重ねてお願い申し上げます。ご意見ご要望等は左記宛まで郵送頂ければ幸甚に存じます。（事務局長）

記

〒615-0058
京都市右京区西院笠目町六
京都外国語大学　能楽部内
能楽部ＯＢ会
事務局広報部　宛

編集後記

今年から新事務局メンバーで制作することとなりました。今後は様々な企画内容を徐々に増やして皆さまの参加型のＯＢだよりの作成を心掛けたいと考えています。どしどし色々なご意見・ご感想をお寄せください。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

《ＯＢだより第40号》
◎編集責任者　藤原敏起
◎発行責任者　島谷直美

平成十五年十二月二十日（土）午前十時始メ
於　河村能舞台

第四十回記念

外大能番組

連吟　難波　部員一同

舞囃子　養老　久保　千織（3）
天鼓　木村　与宣（3）

十時半頃　能楽

海士

子方　土井　智代（3）
前シテ　村城まどか（4）
後シテ　伊藤　友香（4）

招待校出演　立命館大学能楽部

仕舞　弓八幡　高尾　智憲（1）
吉野天人　塚田　智恵（1）
大江山　石川　恵理（1）

舞囃子　松風　鴨川　愛子（3）
桜川　越智　公子（3）

仕舞　胡蝶　星　裕子（1）
邯鄲（楽アト）　坂本　仁美（2）

経（クセ）　正　樋尻　修平（1）
杜若（キリ）　久世　真実（1）
羽衣（キリ）　内田　麻也（1）

十三時頃　舞囃子　班女　光田優芙子（3）
融　土井　智代（3）
野守　安元麻衣子（3）

仕舞　籠　宮崎　正人（OB）
笹之段　石水　真理（OG）
巻絹（キリ）　栗山　藍（OG）
山姥（キリ）　兵道　亮太（OB）

仕舞　藤戸　島谷　直美（OG）

舞囃子　清経　奥田　圭一（OB）

連吟　菊慈童　OB・OG

番外仕舞　老松　橋本　雅夫
遊行柳（クセ）　橋本　礒道

十五時頃　能楽

鵺

前シテ　松田　高雅（4）
後シテ　松田　陽一（4）

附祝言

※（）は回生です。

☆この番組は10月中旬に入手した情報に基づきOBだより用に作成したものです。
内容に関する間違い、変更等があった場合はご容赦ください。
当日のご来場をお待ち申し上げます。

（OB会事務局）